



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月31日

上場会社名 ノバシステム株式会社 上場取引所 東
コード番号 5257 URL <https://www.nova-system.com/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）芳山 政安
問合せ先責任者 （役職名）取締役経営企画部長 （氏名）加藤 博久 TEL 06 (6479) 8100
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	4,984	5.1	160	△51.3	179	△46.9	120	△47.9
2024年12月期第3四半期	4,744	18.7	329	△16.6	339	△11.6	230	△10.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	86.06	85.15
2024年12月期第3四半期	164.29	162.54

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	3,985	2,409	60.4
2024年12月期	3,730	2,233	59.9

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 2,409百万円 2024年12月期 2,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				105.00	105.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	6,666	3.2	298	△43.6	339	△38.5	209	△46.8	150.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更に関する注記)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	1, 402, 500株	2024年12月期	1, 402, 500株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	7, 498株	2024年12月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	1, 395, 328株	2024年12月期 3 Q	1, 402, 500株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(会計上の見積りの変更に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用環境や所得が改善するなかで、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復が続く一方で、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響や米国の通商政策による影響などが国内の景気を下押しするリスクとなっております。

そのような情勢の下、当社業界におきましては、設備投資の回復及び企業収益の改善等を受け、2024年度比で17.3%増（金融機関及び持株会社等を含む全産業、「第206回全国企業短期経済観測調査-2025年9月-」より）のソフトウェア投資額が見込まれており、IT投資は底堅く堅調に推移するものと期待されます。

システムインテグレーションにつきましては、不採算プロジェクトの一部工程における遅延リカバリー対応等により売上高減となる影響があったものの、その他の案件につきましては概ね順調に推移したことにより、売上高は4,900,786千円（対前年同期比4.7%増）となりました。

クラウドサービスにつきましては、販売促進策の推進及び導入店舗増により、売上高は83,848千円（対前年同期比28.7%増）となりました。

売上総利益につきましては、システムインテグレーションにおける不採算プロジェクトへの優先的対応に伴い、計画を上回る開発コスト（人件費及び外注費）が発生したことにより、890,217千円（対前年同期比12.1%減）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、社員寮の取得に伴う租税公課の増加及び中途採用に伴う求人費の増加等により、729,699千円（対前年同期比6.9%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は4,984,634千円（対前年同期比5.1%増）、営業利益は160,518千円（対前年同期比51.3%減）、経常利益は179,941千円（対前年同期比46.9%減）、四半期純利益は120,082千円（対前年同期比47.9%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期会計期間末における資産合計は3,985,963千円となり、前事業年度末に比べ255,484千円増加いたしました。これは主に、有形固定資産385,357千円、投資有価証券110,671千円の増加の一方、売掛金及び契約資産246,937千円等の減少によるものであります。

（負債）

当第3四半期会計期間末における負債合計は1,576,513千円となり、前事業年度末に比べ80,019千円増加いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金92,030千円、賞与引当金103,028千円、受注損失引当金61,702千円の増加の一方、買掛金19,192千円、未払法人税等51,649千円等の減少によるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,409,450千円となり、前事業年度末に比べ175,465千円増加いたしました。これは、利益剰余金119,597千円、その他有価証券評価差額金76,845千円の増加の一方、自己株式の取得による20,977千円の減少によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、2025年7月31日に公表いたしました「2025年12月期第2四半期（中間期）決算短信」及び「第2四半期（中間期）業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はございません。

当四半期の経営成績の概況にて記載の不採算プロジェクトにつきましては、上期より継続していたテスト工程の一部を、当第3四半期会計期間末までに概ね予定通り遂行いたしました。10月以降はテスト結果を踏まえた対応事項に取り組んでおり、12月末までには収束・安定化する見通しです。このため、当第3四半期会計期間末に計上した受注損失引当金67,053千円につきましては、当事業年度末までに解消される見込みです。当該影響を除いた場合、修正後通期営業利益予想に対する当第3四半期累計期間の進捗率は76.4%となります。詳細は、本日（2025年10月31日）公表の「2025年12月期 第3四半期決算説明資料」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	758,979	721,249
売掛金及び契約資産	1,374,371	1,127,434
貯蔵品	14,743	15,878
その他	41,389	64,719
貸倒引当金	△78	△78
流動資産合計	2,189,405	1,929,203
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	568,095	778,936
構築物（純額）	127,239	121,994
機械及び装置（純額）	2,227	2,756
車両運搬具（純額）	6,303	4,729
工具、器具及び備品（純額）	30,423	32,672
土地	222,462	411,020
建設仮勘定	10,000	—
有形固定資産合計	966,751	1,352,109
無形固定資産		
ソフトウェア	8,568	5,304
その他	2,006	1,947
無形固定資産合計	10,574	7,252
投資その他の資産		
投資有価証券	362,099	472,771
その他	201,646	224,626
投資その他の資産合計	563,746	697,397
固定資産合計	1,541,072	2,056,760
資産合計	3,730,478	3,985,963

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	211,777	192,584
1年内返済予定の長期借入金	308,202	400,232
未払法人税等	92,833	41,184
賞与引当金	—	103,028
受注損失引当金	5,351	67,053
資産除去債務	—	8,123
その他	425,493	246,078
流動負債合計	1,043,657	1,058,283
固定負債		
長期借入金	320,032	390,970
資産除去債務	33,823	39,707
その他	98,980	87,552
固定負債合計	452,836	518,229
負債合計	1,496,493	1,576,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	298,105	298,105
資本剰余金	286,105	286,105
利益剰余金	1,439,410	1,559,008
自己株式	—	△20,977
株主資本合計	2,023,620	2,122,241
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	210,363	287,209
評価・換算差額等合計	210,363	287,209
純資産合計	2,233,984	2,409,450
負債純資産合計	3,730,478	3,985,963

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
売上高	4,744,256	4,984,634
売上原価	3,731,933	4,094,416
売上総利益	1,012,323	890,217
販売費及び一般管理費	682,837	729,699
営業利益	329,486	160,518
営業外収益		
受取配当金	3,742	3,488
受取家賃	6,209	7,643
補助金収入	733	7,926
その他	2,775	6,041
営業外収益合計	13,461	25,099
営業外費用		
支払利息	3,497	5,503
その他	346	173
営業外費用合計	3,843	5,677
経常利益	339,103	179,941
特別利益		
投資有価証券売却益	—	378
特別利益合計	—	378
税引前四半期純利益	339,103	180,319
法人税、住民税及び事業税	145,795	104,917
法人税等調整額	△37,114	△44,680
法人税等合計	108,680	60,237
四半期純利益	230,423	120,082

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式9,000株の取得を行っております。また、2025年4月17日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式1,411株の処分を行いました。これらの結果、当第3四半期累計期間において自己株式が20,977千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が20,977千円となっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	47,240千円	51,737千円

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(耐用年数及び資産除去債務の見積りの変更)

当第3四半期累計期間において、大阪サテライトオフィスの退去を決定したことに伴い、退去後利用見込みのない固定資産について耐用年数を短縮しております。また、当社に係る不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務についても、償却に係る合理的な期間に短縮しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益がそれぞれ993千円減少しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

当社は、ソフトウェア開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

当社は、ソフトウェア開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。